

# 田代川水門災害復旧工事の「安全祈願祭」を開催！

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成26年11月20日、宮古市田老の川向地区において、田代川水門災害復旧工事本格着手前の安全祈願祭を開催しました。

安全祈願祭は、二級河川田代川筋川向地区河川災害復旧(23災661号)水門土木工事の施工者である飛鳥建設(株)・(株)ピーエス三菱・小野新建設(株)特定共同企業体が主催し、宮古市及び関係機関をはじめ、工事関係者など約40名が出席して行われました。

式は神事次第に則り、工事の安全と無事故・無災害での早期完成を祈願して取り行われました。

安全祈願祭に当たり発注者を代表し、沿岸広域振興局の桐田教男副局長が、関係者の皆様への感謝と一日も早い復旧・復興の推進に向けて、一体となって取り組んでいきたい旨を述べ挨拶としました。

## 位置図

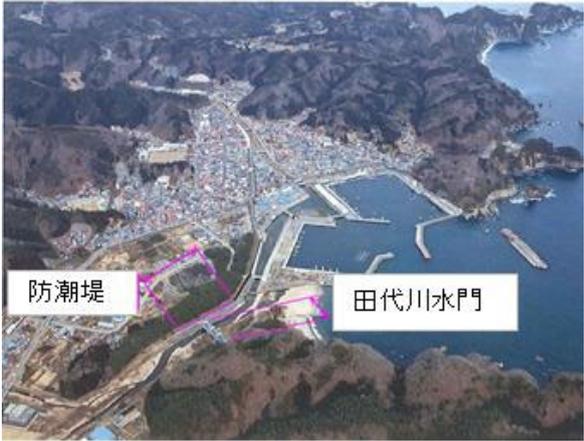


## 安全祈願祭の様子



## 宮古市田老地区の概要

宮古市田老地区は、国道 45 号や三陸鉄道北リアス線が通り、貴重な平地部を有していることから、住宅地や漁業・商業施設用地として活用されている地域でしたが、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災津波により、既設の防潮堤 (T.P.+10.0m) をはるかに越える高さ約 17.3m の津波に襲われ、甚大な被害を受けました。  
※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ



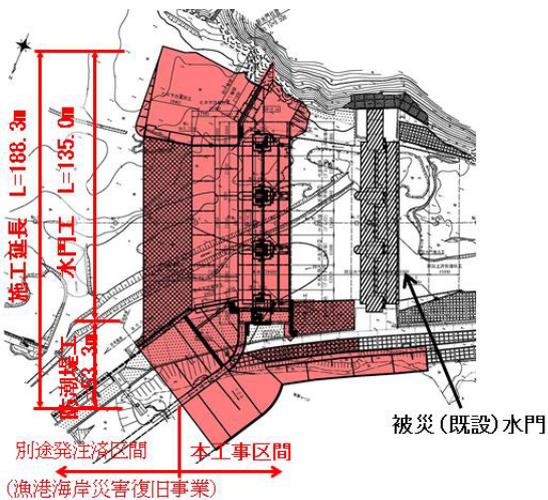
被災前 (平成 22 年 3 月)



被災後 (平成 23 年 3 月)

## 災害復旧工事の概要

県では、「岩手県津波防災技術専門委員会」における検討結果を踏まえ、新たな水門の計画高さを田老漁港海岸防潮堤 (一線堤) と同一の T.P.+14.7m で復旧することとしました。これらの災害復旧工事は、平成 28 年度末の完成を目指し、鋭意取り組んでいきます。



施工平面図



田代川水門完成予想図